

わかりやすい予算書

— ことしのよさん —

飯 豊 町

2021



目次

01	飯豊町「ゼロカーボンシティ」宣言
02-03	当初予算の概要
04-05	一般会計の歳入・歳出内訳
06-11	主要事業の概要
12-13	財政健全化指標



飯豊町「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化の進行やその影響による異常気象から、世界的に甚大な自然災害が頻発しています。飯豊町は、気候変動が暮らしの著しい脅威となっていることを認識し、気候非常事態宣言を発し、この危機的な状況に向き合い、脱炭素社会・循環型社会に向けた取り組みを強化することとしました。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

飯豊町は、町民や事業者、行政が一体となって、町が掲げるSDGs未来都市計画、バイオマス産業都市構想及び飯豊電池バレー構想の実現と、先人の努力と知恵により受け継がれてきた「日本で最も美しい村」の豊かな暮らしを次世代へ持続的に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言します。

令和2年12月15日

飯豊町長 後藤 幸平



「ゼロカーボンシティ」とは、2050年までに温室効果ガスの排出量または二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指す旨を公表した地方自治体呼びます。二酸化炭素の排出量をゼロにすることは、ガソリン自動車の乗車やごみの焼却時に発生する二酸化炭素の量よりも、森林などの吸収源が回収する量を大きくし、実質ゼロにするということです。

「SDGs未来都市」に選定された本町においても「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、町としての社会的責任を果たしてまいります。

当初予算の概要



自治体の1年間の予算

予算とは、4月から翌年の3月までの1年間の収入と支出の見積もりです。新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使う予定なのかがわかります。

飯豊町の2021年度予算

一般会計、特別会計、企業会計すべての会計を合わせた金額は、99億8,528万円です。

特別会計には、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計、下水道事業特別会計などがあります。特定の収入(保険料など)によって賄われている事業は、一般会計とは分けて経理します。

一般会計

一般会計とは、飯豊町の行政サービスの基本的な分野、福祉や教育、道路整備などの収入と支出を管理する会計です。

一般会計
69億2,700万円
前年度比 +5.1%
前年度比 +3億3,500万円

特別会計

特別会計とは、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計とは区別して、収入と支出を経理する会計です。飯豊町では、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計など、11の特別会計があります。

特別会計
27億1,257万円
前年度比 ▲2.3%
前年度比 ▲6,342万円

企業会計

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。飯豊町では、水道事業会計があります。

企業会計
3億4,571万円
前年度比 ▲33.4%
前年度比 ▲1億7,334万円

予算編成の方針

2021年度予算の歳出は、2020年度まで実施した新産業集積事業の貸工場建設などの大規模な投資的事業が終了したものの、最終年度を迎える飯豊中学校大規模改修や年数を経た公共施設の設備更新、子育て支援など従来からの住民サービスを継続していくための費用が増加することから、国県支出金や町債のほか、財政調整基金を始め各種基金を活用します。

持続可能な財政運営を確保するため、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という行財政運営の基本を踏襲し、飯豊町が直面する課題に立ち向かい、道を切り拓いていかなければなりません。そのため、「第5次飯豊町総合計画」、「飯豊町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現を目指して、施策の計画的な実行に向け、機を逸することなく必要な投資を行う予算編成となりました。



令和3年度予算書

予算の決め方と変え方

町長がまとめた予算案を町議会で審議し、議会の議決によって予算が成立します。町長が各課で出された案を自分の考えにそってまとめ、予算案として町議会に提出します。町民を代表する町議会は、提案された予算案を様々な面から審議した上で、議決します。

年度の途中における状況の変化などに対応するための予算を「補正予算」といいます。当初予算と同様に議会の議決を得て決まります。

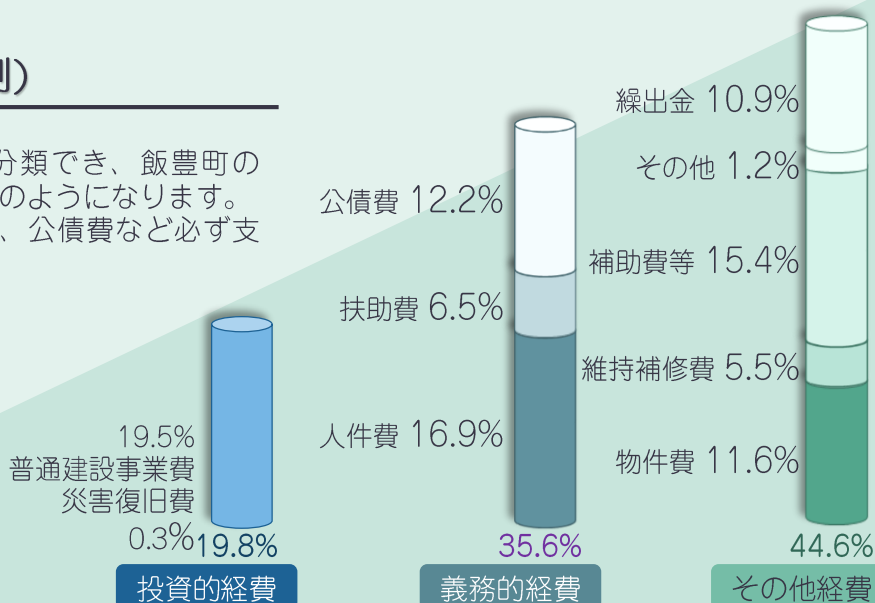


一般会計の歳出内訳(性質別)

歳出予算はサービスの性質別に分類でき、飯豊町の2021年度予算69億2,700万円は、次のようになります。

一般会計予算総額に占める人件費、公債費など必ず支出しなければならない義務的経費の割合は35.6%です。

道路や公共施設の新増設の建設事業に必要とされる投資的な経費である普通建設事業費及び災害復旧費は、一般会計予算総額の19.8%となっています。



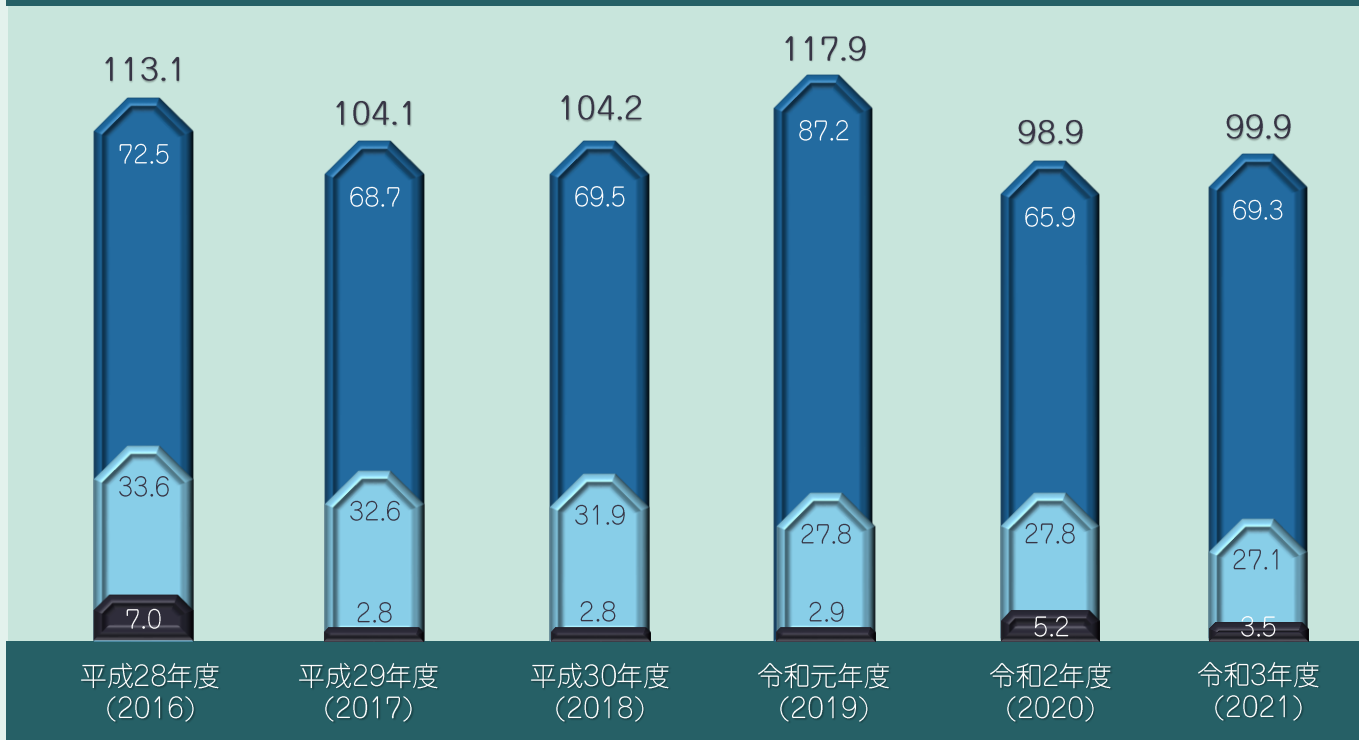
当初予算の推移

一般会計

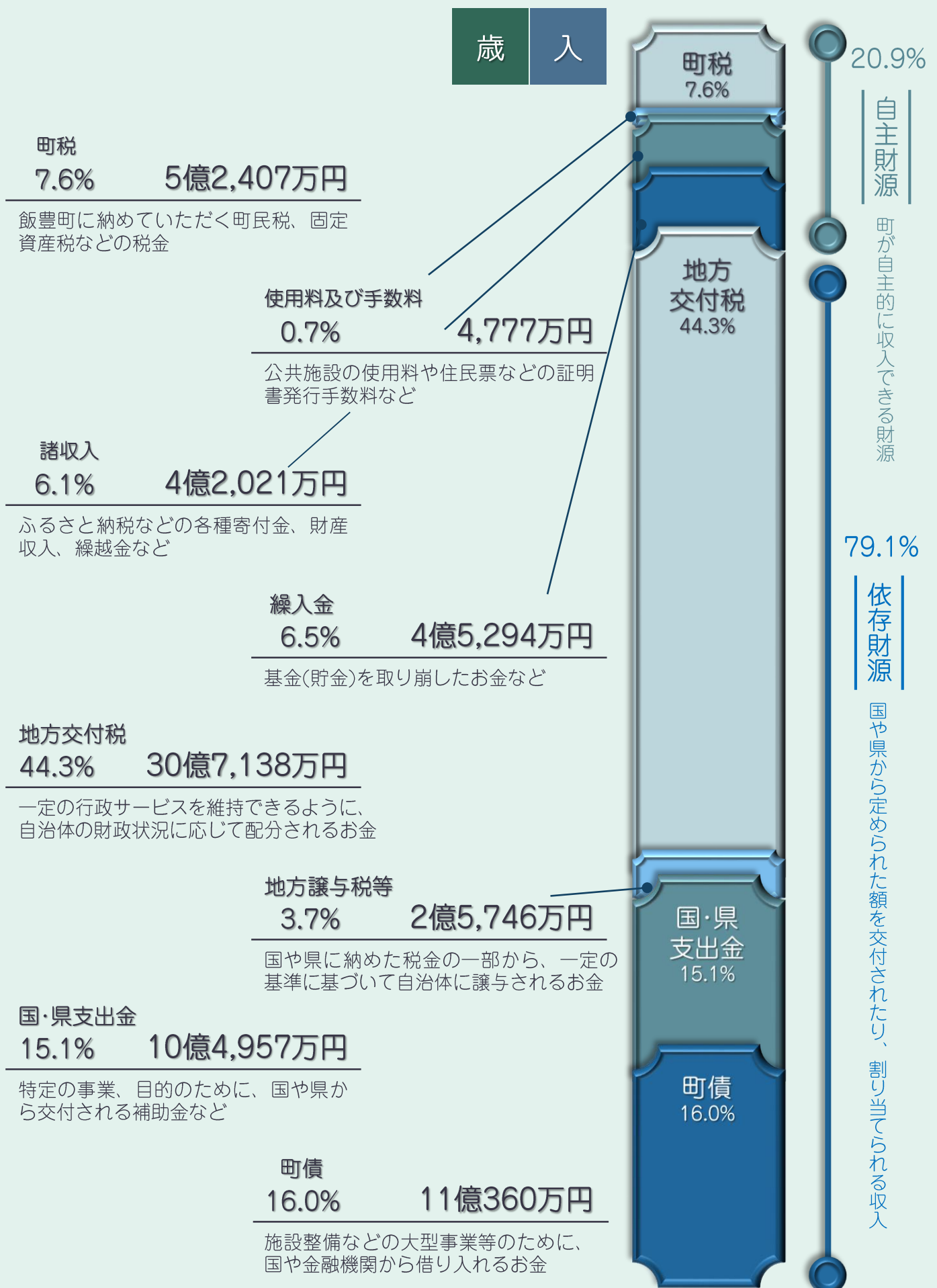
特別会計

企業会計

単位：億円



一般会計の歳入・歳出内訳



歳 出

歳出をサービスの内容区分ごとに分類したものを、歳出の「目的別」の分類といい、民生、教育、土木など13の目的の歳出があります。

2021年度は、町有財産の維持管理経費などの総務費13.8%、子育て支援医療給付など民生費が19.8%、飯豊中学校大規模改修事業などの教育費が15.0%となっています。



総務費
13.8% **9億5,308万円**

役場庁舎の管理や町有財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙など



民生費
19.8% **13億6,883万円**

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、生活保護など



農林水産費
12.7% **8億8,043万円**

農業、林業の振興など



商工費
3.5% **2億4,501万円**

商工業・観光の振興、中小企業の支援、企業誘致など



土木費
12.1% **8億4,039万円**

道路、河川の維持管理や整備、除排雪、公営住宅の管理など



教育費
15.0% **10億3,575万円**

小中学校の環境整備、生涯学習、文化財やスポーツ振興など



公債費
12.2% **8億4,843万円**

国や金融機関からの借入金の返済



その他
10.9% **7億5,508万円**

議会運営、ごみ処理などの環境保全、消防や災害復旧費など



4,861万円

新型コロナウイルス感染症対策



2019年12月に中国で初めて検出が確認された新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息の目途は立たず、県内の一部自治体においてはクラスターが発生するなど、予断を許さない状況です。今後も継続して新しい生活様式の周知徹底を図り、町内から感染者を発生させないという気概を持って対応に当たります。



国内において医療関係者などからワクチンの接種が始まりました。新型コロナワクチン接種は、個人の新型コロナウイルス感染を予防することに加え、集団感染や病気重症化の予防について期待されています。新型コロナウイルスワクチン接種に係る関連費用を約2,815万円計上しています。医師や看護師の確保、接種場所の整備、副反応の状況などまだまだ課題があるものの、国や県と連携を密にしながら、円滑な接種体制整備を行います。

その他には、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障が生じた中小企業を支援するために設置した飯豊町中小企業緊急災害等対策利子補給基金の積立金を財源にした利子補給金約1,262万円や、小中学校の先生方の負担軽減のため、各校の清掃業務委託を継続して実施する予定です。



*新型コロナウイルス感染症対策については、補正予算を計上し、感染防止対策、生活支援、経済対策などに取り組む予定です。

新型コロナウイルス
ワクチン接種
コールセンター

☎ 0120-567-445

町健康福祉センター内に、新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談のためのコールセンターを設けています。



町民総合センター「あ〜す」



人をはぐくむまち

1,500万円

町民総合センター「あ〜す」改修事業

1991年にオープンした町民総合センター「あ〜す」は、施設本体や電気、設備等の老朽化が顕著であることから、これからも長く利用するための大規模改修を行います。2021年度に設計業務を行い、2022年度以降、改修工事に着手する予定です。工事期間中は、利用を制限しなければならないこともあります。より快適な環境で使い続けるための取り組みです。



飯豊町役場庁舎



郷土をたがやすまち

9,349万円

非常用自家発電機整備事業

役場庁舎の災害対策本部としての機能強化と行政としての業務継続を図るため、役場庁舎に非常用自家発電機を整備します。地域防災計画や2020年度に改訂した「飯豊町防災ハザードマップ」を活用し防災対策を強化していきます。



可能性をひらくまち

1,203万円

飯豊・農の未来事業

2015年に開始した「飯豊・農の未来事業」は7年目を迎えます。6次産業化の推進や稲作から土地利用型作物への転換として、家畜用飼料となる子実用トウモロコシの栽培、飯豊産小麦の活用など、持続可能な農業の実現に向けて取り組みます。

416万円

有害鳥獣対策事業



町内で増えるイノシシ被害

全国的に人里での熊の出没が後を絶たず、本町でも、2020年度は熊の出没情報が最多となりました。また、山間部や中山間部を中心にイノシシによる被害も急増しています。農作物の食害や田畑の掘り起こし、水田畦畔や畑の土手等の崩壊など、農作物の耕作に多大な支障をきたしています。

これまでの電気柵による被害防除だけでなく、檻やワナの設置により被害防止対策を強化していきます。イノシシ等の被害による畦畔の整備及び復旧への助成制度を創設し、侵入防止と合わせて、複合的な対策を行い、被害の軽減を図っていきます。



可能性をひらくまち



世代をつなぐまち

6,434万円

母子保健、子育て支援医療給付

「飯豊町子育て世代包括支援センター」を拠点として、妊婦期から子育て期までの様々な悩み等に対応していきます。また、県内でも早い段階から実施してきた年齢18歳までの医療費の無料化や、重度心身障がい児やひとり親家庭等の医療費助成、不妊治療に係る費用の助成などにより、子育て世代等の経済的負担軽減を図っていきます。



人をはぐくむまち

823万円

地域づくり推進事業



第5次飯豊町総合計画に合わせて策定した新たな「地区別計画」の目標実現に向けて、「地域づくり推進事業費補助金」を通して支援していきます。人口減少が進み、地域コミュニティが希薄になる中、自分たちの手でどう地域を盛り上げていくかが大切です。各地域で「手づくりのまち いいで」の取り組みを進めていきます。





人をはぐくむまち

4億4,971万円

飯豊中学校大規模改修

1991年度の校舎建設から30年が経過した飯豊中学校。子どもたちの教育環境を整えるために、2019年度から改修工事に着手し、最終年になります。2021年度は、主に体育館の屋根や外壁の改修などを行い、子どもたちにとって、より良い教育環境の提供を行います。

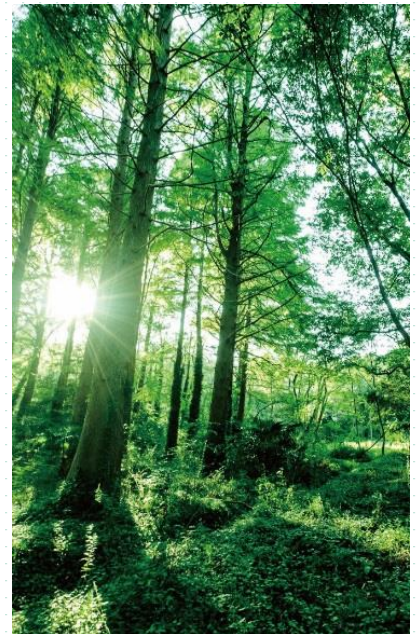


郷土をたがすまち

2,020万円

森づくり支援・森林整備

森林環境譲与税や山形県みどり環境税を活用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図ります。森林の保安全管理や計画性を持った資源の有効活用、荒廃した森林の整備、里山の下刈りなどにより、人と野生鳥獣の生活圏を分ける緩衝地帯を整備し、有害鳥獣や森林病虫害による農林産物被害の抑制を目指します。バイオマス産業都市として、木質バイオマス燃料の供給体制確立、公共施設等でのバイオマス燃料への転換などを進めていきます。



安全・快適なまちづくり
郷土をたがやすまち 2億4,712万円

除排雪事業（道路、高齢者支援）

冬期間の道路交通を維持するため、道路の除雪や消雪を行い、安全・安心な生活を確保します。高齢者世帯等には、除雪ヘルパーの派遣等を通じて支援していきます。

主要事業の概要

1,700万円

農家レストランエルベ改修事業

 縁をつむぐまち



2000年4月にオープンした農家レストランエルベ。2020年度に改修に着手し、2021年度も引き続き、空調や設備更新を行います。皆様が利用しやすい環境整備を進めていきます。

6,550万円

ふるさと納税事業

 縁をつむぐまち



いいでめざみの里応援寄附金(ふるさと納税)により全国各地の多くの方から応援いただいています。いただいた寄附は町の貴重な財源になるだけでなく、本町を知ってもらい、この縁を大切にしていきます。

1,500万円

林道災害復旧事業

 郷土をたがやすまち



林道豊津線

令和2年7月豪雨により、最上川が氾濫し県内全域に大きな被害が発生しました。本町でも、町道や林道などの損壊等がありました。林道豊津線(小白川地内)などの復旧工事を行います。

718万円

アンテナショップIIDE運営事業

 縁をつむぐまち



アンテナショップIIDE

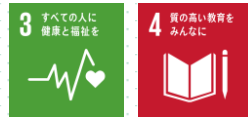
2014年に杉並区高円寺にオープンした「アンテナショップIIDE」。本町産の美味しいうや姫で作る「おにぎり」販売を中心に、全国へPRしています。コロナ禍に対応し、総菜のテイクアウト販売も始めました。

ご紹介した事業以外にも、飯豊町ではたくさんの事業を展開しています。

3,000万円

児童発達支援施設整備事業

 世代をつなぐまち



町内に特別な支援を必要とするお子様の支援施設がなく、現在は近隣市の施設を利用しています。児童発達支援施設の町内開設に向けて、民間事業者と調整を進めます。

530万円

老朽危険空き家対策

 縁をつむぐまち



イメージ写真

本町のみならず、全国的な課題となっている老朽危険空き家。2018年度に策定した「飯豊町空き家等対策計画」に基づき、空き家の適正管理と利活用を促し、老朽危険空き家の解体に向けた対策を進めます。

909万円

地域おこし協力隊による地域力強化

 縁をつむぐまち



地域おこし協力隊2名が、移住定住コンシェルジュとアウトドア普及及び指導の活動を行っています。本町の良さを発信しながら、新たな観光資源の掘り起こしやアウトドアメニューなどの商品開発を行っています。

36万円

「新しい生活様式」での成人式開催

 人をはぐくむまち



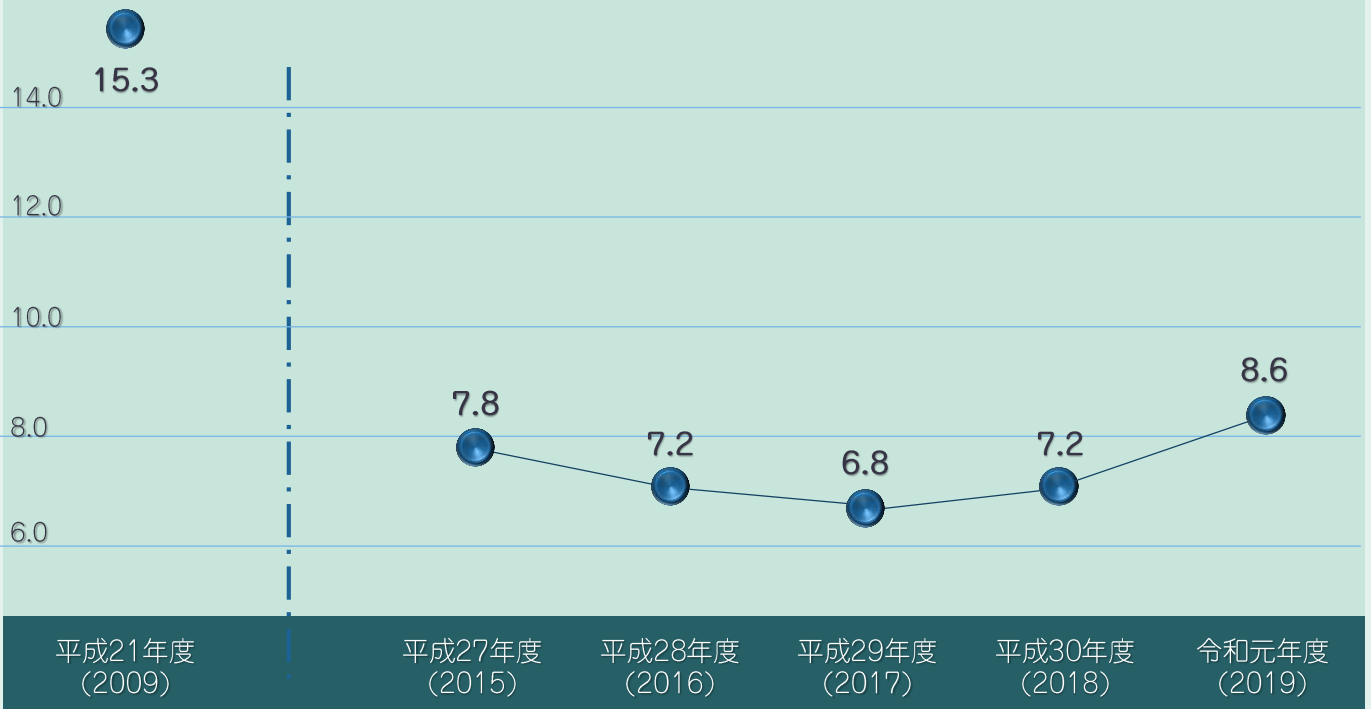
令和2年度成人式

令和2年度の成人式は、新型コロナウイルス感染症の影響で参加できない新成人や家族に対し、YouTube配信を行いました。引き続き、感染症対策を講じ、新しい生活様式に対応した成人式を開催する予定です。

財政健全化指標

実質公債費比率

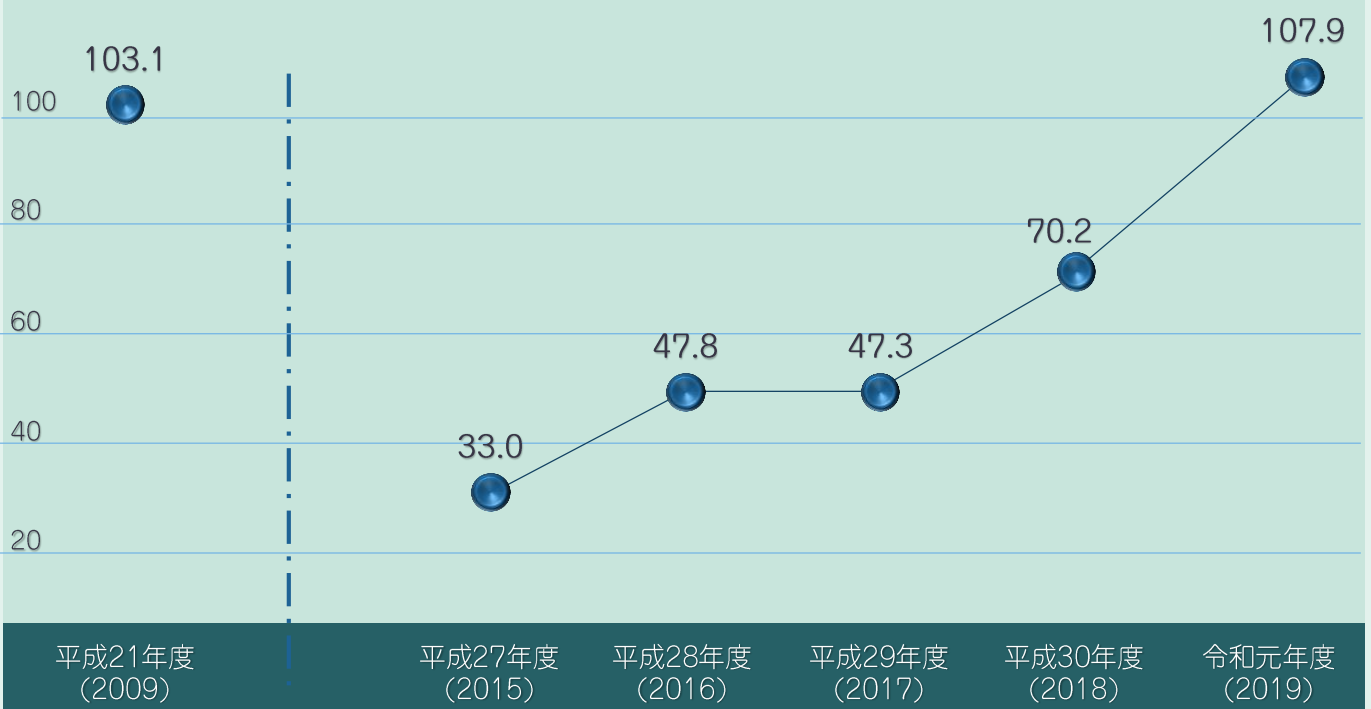
単位：%



実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の元利償還金(町の借入金の返済金)などの標準財政規模に対する比率です。この指標が18%を超えると起債(借金)をする際に知事の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債が制限されます。2009年度は15.3%、2019年度は8.6%です。

将来負担比率

単位：%



将来負担比率とは、地方債や職員の退職金など、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。2009年度は103.1%、2019年度は107.9%です。

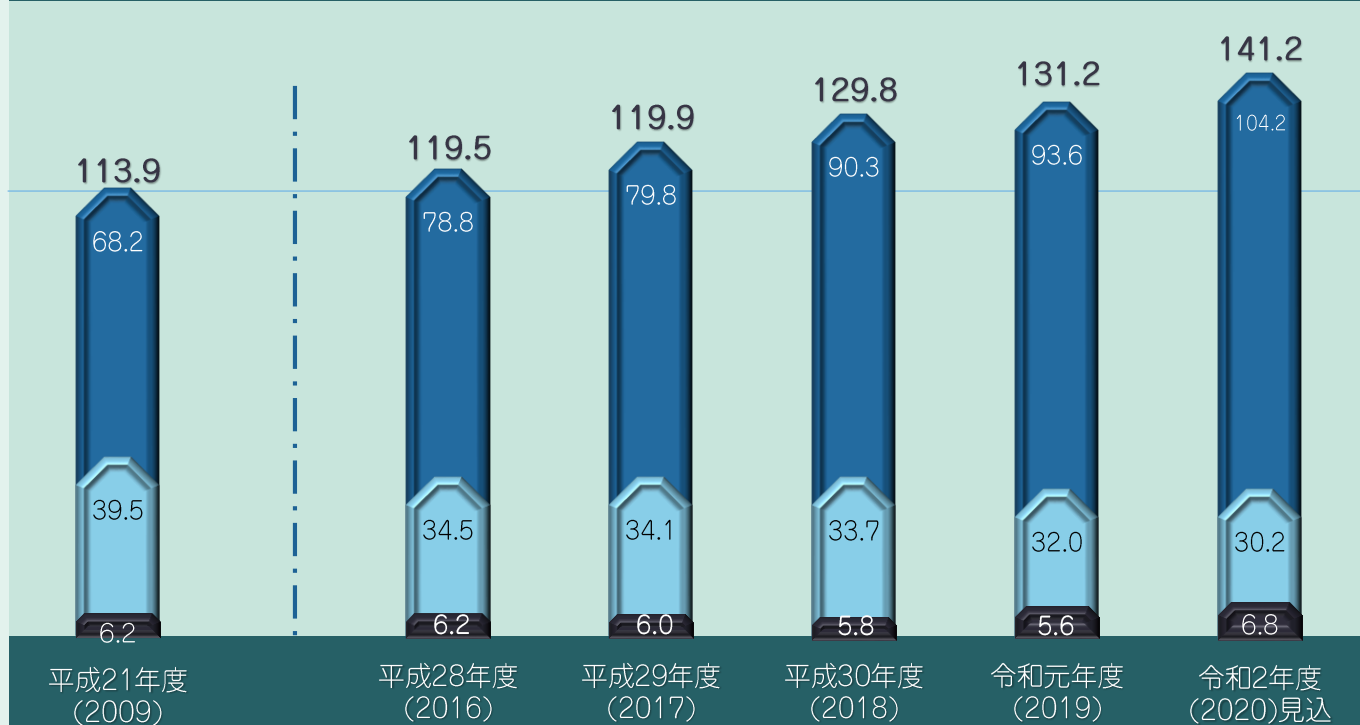
町債残高

一般会計

特別会計

企業会計

単位：億円



町債は、大きな事業をするときに、国などから借り入れる借金です。道路や建物などは、たくさんの方が利用することから、その年の予算だけで賄うのではなく、将来の町民の方にも費用負担いただく「負担の公平化」も、町債を発行する理由の一つです。2009年度は約113億9千万円。2020年度は約141億2千万円になる見込みです。

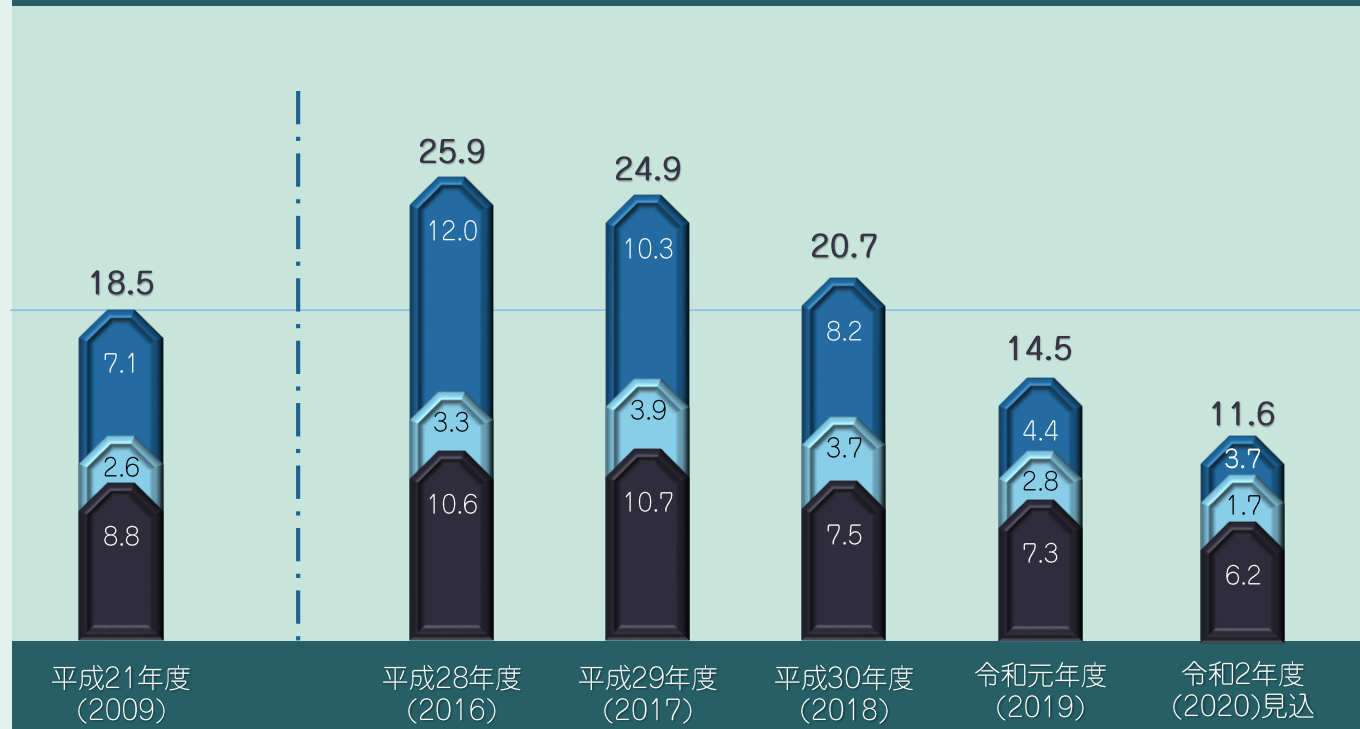
基金残高

財政調整基金

減債基金

その他基金

単位：億円



基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産です。家庭で言えば貯金です。年度間の財源不足に備えるための「財政調整基金」、町債の償還(借金の返済)に必要な財源を確保し、財政の健全な運営を行うための「減債基金」などがあります。2009年度は、約18億5千万円。2020年度は約11億6千万円になる見込みです。

わかりやすい予算書
飯豊町 2021



〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地
TEL (0238)72-2111

飯豊町はNPO法人
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



the most beautiful
villages in japan

飯豊町
山形県